

# MATERIAL SAFETY DATA SHEET

## RECOVER BOARD

東京都港区西新橋 3-13-3

(ユニゾ西新橋三丁目ビル)

株式会社 東京興業貿易商会

TEL 03-3436-2581 / FAX 03-3436-4742

材料安全データシート

I 製品案内	
商品名	球状ガラス保護板/リカバーボード
種類	ガラスシート入りアスファルト合成板
適用	防水層を機械的衝撃から保護する

II 危険物質材料

材料	%	CAS#	暴露限界	LD <sub>50</sub> /LC <sub>50</sub>
アスファルト針入度指数	40～50	8052-42-4	5mg/m <sup>3</sup>	ACGIH,NIOSH
グラスファイバー	2.0～3.0	65997-17-3	5mg/m <sup>3</sup>	ACGIH
ホルムアルデヒド (グラスファイバー中)	1.0	50-0-0	1PPM	
ポリスチレンパウダー	2.0	8002-88-4	10mg/m <sup>3</sup>	無し

III 物性値

物理的ガス ( ) 状態 液体 ( ) 固体 (X)	僅かな石油の臭いが発生 表層はグラスファイバー とポリエチレンフィルム	臭いの発生源(PPM)  適用無し	
揮発性物質(量)	蒸気圧(mmHg) 適用無し	気体比重(空気 1) 適用無し	蒸発率 適用無し
沸騰点       ℃ 適用無し	氷結温度   ℃ 適用無し	重量 (水=1) 1.4～1.55	比重 1.4～1.55
水溶性 溶解しない	蒸留 水/油 適用無し	PH 適用無し	

#### IV 爆発性危険物

発火性 無 し		発火の状況 適用無し	
引火点 ℃ 240	発火性物質限度 (%量) 下限 無し 上限 無し	自然発火温度 ℃ 370~480	
TDG 発火性 (CLASS) 規則無し		動的衝撃感 無し	静的衝撃感 無し
危険な燃焼物	SO <sub>2</sub> ,CO <sub>2</sub> 燃焼中発生 商品の主燃焼物 H <sub>2</sub> O,CO <sub>2</sub> ,C(重煙) バインダーのホルムアルデヒドは分解されて CO,CO <sub>2</sub> 及び H <sub>2</sub> O となる		
消火方法	二酸化炭素、泡、乾燥消火剤、水		
特殊火炎消火方法	放水又は噴霧により炎にさらされている容器を冷やす。 燃えているアスファルトに直接水をかけると拡散しますのでかけないで下さい。酸素呼吸器一式及び防火服を着用し、現在の煙又は煙っている基を無くしてください。		

#### V 反動性データ

化学物質 有(X) 無( )	避ける条件 適用無し
避ける条件	過度に熱を上げて引火点に近づけると、強い酸化剤及び酸になる。
反動性の状態	適用無し
危険な分解物質	適用無し

#### VI 毒物学的特性

発生源の限度評価	LC <sub>50</sub> /LD <sub>50</sub> 適用無し	
接触経路	(X) 肌接触 (X) 目接触 (X) 吸入 (X) 食道	
急激暴露試験結果	通常の使用で問題は発生しない。もし燃えた場合、煙を吸入すると、ひどい不快感、頭痛、めまい等の原因になる。	
長期暴露試験結果	適用無し	
刺激性の煙は目及び気管に刺激を与える。	煙にさらされ続けると敏感になる。	依存性の材料としては知られていない。
( ) 発ガン性物質 ( ) 再生性効果 ( ) 奇形生成性 ( ) 突然変異誘発性 歴性質には、人間に癌を誘発するような事例は確認されていない。		

## VII 最も重要な対策方法

肌	肌に付着した場合は冷たくなってから水と石鹼で洗い流す。
目	最低 15 分程度目に水をかけて洗い流し、医者診察を受けてください。
吸入	犠牲者を移動して新鮮な空気を与えてください。イライラが何時までも続くようであれば、酸素を与え医者診察を受けて下さい。
食道	不幸にも偶然食べてしまった場合は、無理に吐き出させないで下さい。一般的にはどんなに食べてしまっても、医者アドバイスも要らないし、大きな量出なければ治療の必要もありません。

## viii 予防対策

人体の 保護装置	目	安全眼がね
	手	手袋
	衣類	長袖
	呼吸器	無し
換気等	適用無し	
漏れ・こぼれの 手順	もし商品を加熱して貼る場合は固くて冷めた固体に使用してください。切断する場合は容器の中で行ってください。	
廃材処分	許可された埋めたてゴミ処理場で処分するか、もしくは夫々の規則によって改良された焼却場で燃やしてください。	
取り扱い手順	特に無し	
保存方法	特に無し	
輸送案内	特に無し	